一般社団法人 熊本県作業療法士会

■ 認知症に関する昨年度下半期の活動報告と今後の活動計画(概要)

熊本県作業療法士会では、平成27年度から活動を開始した認知症プロジェクトチームから令和2年度より事業部認知症班として活動を行っている。また、このメンバーが中心となって認知症アップデート研修を専門教育部で行っている(表1)。昨年度からオンライン研修となり、運営や参加する県士会員にとっても手探り状態での開催となったが、例年通りの参加者数だった。また、認知症の人と家族の会(熊本県支部)との交流も地道に活動を継続し、作業療法士の参加は無くてはならないものとなっている。さらに、この会が主催する世界アルツハイマー・デーに開催される記念講演会では作業療法士が講演し、熊本県作業療法士会で作成した冊子「認知症の人への関わりヒント集」とそれを動画にしたURLとORをチラシにして会場で配布予定である。

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
基礎編	122名	82名	81名	76名	32名	69名
応用編	_	60名	57名	中止	30名	開催予定

(表1. 認知症アップデート研修参加者)

■ 認知症の人と家族の会との連携事業

毎月第3日曜日午後、認知症の人と家族の会(熊本県支部)が行っている当事者及び家族の交流会「みどりの小路」に参加している。毎回、約8組のご家族が参加されている。まずは、ボッチャなどのゲームを楽しんだ後に当事者と介護家族に分かれミーティングを行っている。その中で熊本県作業療法士会会員は、体操やミーティングの補助などを行っている。







動画作成事業

実話を元に、当事者の「想い」に焦点をあてた動画を作成した。これを地域包括支援センターや認知症に関する研修など様々な場面にて活用してもらいたいと願っている。今回紹介する「徘徊」も当事者には理由があり、駅に行きたいけど、認知症により駅に行く道筋を忘れてしまい、ただ単に「迷子」になっているだけかも知れない。大切なことは周りの方々が認知症の人の想いを知ろうとすることであり、それが「共生」への一歩となるのではないかと考える。このDVDが認知症の人やその家族が不安なく自分らしく過ごせることに繋がれば幸いである。

関係機関へのDVDの配布と県士会ホームページへの掲載を予定している。



(非売品)